

# ユーザー・フォントのダウンロード方法

IBM 5400-L10/L06/S06/006/L02印刷装置をAS/400とLAN接続(Telnet5250E)した場合、及びIBM Infoprint250をAPW/APPWフィーチャーで使用する場合、ユーザー・フォントは予め、AS/400からプリンターにダウンロードしておく必要があります。

ここでは、ダウンロードの方法について説明いたします。

## 【初めに】

1. ダウンロードするためのOS/400上のモジュールは、AS/400のライセンス・プログラム「多機能漢字印刷ユーティリティ(APSU)」に含まれています。OS/400のバージョンがV4R2以降でAPSUを導入されていない場合は、日本IBMプリンター・ホームページの中の「ダウンロード・ページ(<http://www.jp.ibm.com/printer/download.html>)」からダウンロードしていただくことができます。また、OS/400のバージョンがV4R5以降の場合は、APSUの期間限定お試し版の中に含まれていて、このモジュールのみ期間限定なくご使用いただけます。

## 【ユーザー定義文字セット】

1. ユーザー定義文字セットは、ユーザーがCGUで作成するもので、CGUは24x24ドット、及び32x32ドットの2種類の文字セットをサポートしています。
2. IBM 5400印刷装置では、24x24ドットのユーザー定義文字のみサポートされます。IBM 5400-006印刷装置では合計1,152文字まで、また5400-L10、L06、S06、L02印刷装置では合計4,370文字がロード可能です。
3. IBM Infoprint 250の場合、APWモードでは32x32ドット、及び24x24ドットのユーザー定義文字がサポートされます。APPWモードでは、更に40x40ドットのユーザー定義文字もサポートされます。合計6,205文字までがロード可能です。

## 【ユーザー・フォントダウンロード手順】

1. STRCGUでユーザー・フォントを作成。
2. LODPPWコマンドを実行(QPPPPRTというスプールが作成されます)。  
コマンド入力画面よりLODPPWと入力し、F4キーを押下するか、下記のようにパラメータ付きのコマンド全体を入力して下さい。

```
LODPPW DEV(*FILE) IGCSIZE(24) OPTION(*LOAD) RANGE(*FIRST *LAST)
```

DEV : \*FILEを指定。(パラメータの詳細は次ページを参照)  
IGCSIZE : 5400の場合は24を指定。(パラメータの詳細は次ページを参照)  
OPTION : \*LOADを指定。(パラメータの詳細は次ページを参照)  
RANGE : \*FIRST \*LASTを指定。(パラメータの詳細は次ページを参照)

**注:** 印刷装置ファイルQPPPPRTがSPOOL=\*NOで指定されている時に、DEVパラメーターに\*FILEを指定すると、エラー・メッセージ「APP5101印刷装置ファイルQAPS/QPPPPRTがオープンできない」が表示され、ロードできません。その場合は、「OVRPRTF FILE(QPPPPRT) SPOOL(\*YES)」と入力後、LODPPWコマンドを実行して下さい。

3. スプール QPPPPRTをユーザー・フォントを取り込みたいプリンターへ出力。  
正常に出力が終わると白紙が紙送りされます。
4. プリンターの再起動。

## 【LODPPW(文字ロード)コマンド】

ユーザー定義文字セットをロードするには、LODPPWコマンドを使用します。ここでは、コマンド・パラメーター、コマンドの入力について説明します。

## 【コマンド・パラメーター】

ここでは構文図に出てくるコマンド・パラメーターについて説明します。(下線が引かれた値が省略時の値です。)

DEVパラメーター : 出力する印刷記述名を指定します。

\*FILE: 出力装置は、APW/APPW用印刷装置ファイル(QPPPPRT)に指定されている印刷記述名と同じであることを示します。

\*JOB: 現ジョブに割り振られた印刷装置に出力します。

\*SYSVAL: システム値に設定された印刷装置に出力します。

\*出力装置名: 出力する印刷装置記述名を指定します。

IGCSIZEパラメーター: 文字セットの大きさを指定します。大きさには、次の3種類があります。

24: 24x24ドット(5400-xxxでは24を指定してください。)

32: 32x32ドット(Infoprint 250の標準サイズ)

40: 40x40ドット(Infoprint 250APPWフィーチャーの場合のみ)

OPTIONパラメーター: 以前にロードした文字セットを削除するかどうかの指定です。

\*LOAD: 新しい文字セットをロードする場合に指定します。

\*CLEAR: 以前にロードした文字セットを削除する場合に指定します。

注: 新しい文字セットをロードするときは、OPTIONパラメーターを\*CLEARに指定して、以前にロードした同サイズの文字セットを削除した後、OPTIONパラメーターを\*LOADに指定して、新しい文字セットをロードしてください。

RANGEパラメーター: ロードする文字の範囲を開始番号・終了番号で指定します。

開始番号・終了番号の番号とは、DBCSフォントテーブル上の、ユーザー定義文字エントリー番号を示します。例えば、最初のユーザー定義可能なIBM漢字コード'6941'は、エントリー番号1となります。以下にIBM漢字コードとエントリー番号の関係を示します。

エントリー番号	IBM漢字コード
1	6 9 4 1
2	6 9 4 2
3	6 9 4 3
:	:
2 5 6	6 A 8 0

ロード可能な文字数には、制限があります。指定しない場合は、全てのユーザー定義文字がロードされます。例えば5400-006の場合、256文字を越える文字が送られると、登録可能な文字数を越えるユーザー定義文字は、読み捨てられます。

\*FIRST: DBCSフォント・テーブル上の最初のユーザー定義文字を示します。

\*LAST: DBCSフォント・テーブル上の最後のユーザー定義文字を示します。

## ！！参考情報！！

以上の手順を行っても出力できない場合は、以下の項目をご確認ください。

- ・印刷装置ファイルの中の外字……………IGCEXNCHRを\*NOに指定すると出力できる場合があります。(OS/400のバージョンやPTFのレベルによって、異なる可能性があります。)
- ・印刷装置ファイルQPPPPRTのスプールが印刷終了しているか、LODPPWを実行したセッションでWRKJOBにて状況を確認してください。
- ・複数のプリンターに同じユーザーフォントをLODPPWを行う場合はスプールファイル(QPPPPRT)の属性パラメータの保管ファイル(SAVE)を\*YESにすることをお勧めします。